

適用規格																																
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ 105℃（注1）				保存温度範囲		-10℃ ～ 60℃（注2）																								
	電 圧	信号部 AC 50 V 電源部 AC 200 V				使用湿度範囲		相対湿度85%以下 (但し結露の無いこと)																								
	電 流	信号部 0.5 A 電源部 3.0 A				保存湿度範囲																										
性 能																																
	項 目	試 験 方 法				規 格				QT	AT																					
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○																					
	表示	目視にて確認する。								○	○																					
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA（DC 又は 1000 Hz）以下で測定する。				信号部 70 mΩ以下 電源部 20 mΩ以下				○	－																					
	絶縁抵抗	信号部 DC 100Vで測定する。 電源部 DC 250Vで測定する。				信号部 100 MΩ以上 電源部 1000 MΩ以上				○	－																					
	耐電圧	信号部 AC 150Vの電圧を1分間印加する。 電源部 AC 600Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	○																					
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。				<table><tr><td>芯数</td><td>20</td><td>40</td><td>60</td><td>80</td><td>100</td><td>120</td></tr><tr><td>差込力(N以下)</td><td>9</td><td>18</td><td>27</td><td>36</td><td>45</td><td>54</td></tr><tr><td>引抜力(N以上)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr></table>				芯数	20	40	60	80	100	120	差込力(N以下)	9	18	27	36	45	54	引抜力(N以上)	1	2	3	4	5	6	○	－
	芯数	20	40	60	80	100	120																									
	差込力(N以下)	9	18	27	36	45	54																									
	引抜力(N以上)	1	2	3	4	5	6																									
	繰り返し動作	100 回の抜き差しを行う。				① 接触抵抗：信号部 80 mΩ以下 電源部 30 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	－																					
耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。				① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	－																						
耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。								○	－																						
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗：信号部 80 mΩ以下 電源部 30 mΩ以下				○	－																					
	温度サイクル	温度 -55 → +85℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 (槽の移し変え時間は2～3分)				② 絶縁抵抗：信号部 100 MΩ以上 電源部 1000 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	－																					
	耐熱性	温度 105℃中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗：信号部 80 mΩ以下 電源部 30 mΩ以下				○	－																					
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。				②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	－																					
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2℃ 75±5%RH 96 時間放置する。 試験規格：IEC 68（対応規格 JIS C 60068）				① コネクタ機能を損なうような腐食が ないこと。 ② 接触抵抗：信号部 80 mΩ以下 電源部 30 mΩ以下				○	－																					
	はんだ耐熱性	【 リフロー 】ピーク温度 MAX260℃ 220℃以上 60秒以内 【 はんだごて 】こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内				外観の変形及び端子などに著しいガタが ないこと。				○	－																					
	はんだ付け性	はんだ温度 240±3℃、浸せき時間 3秒の はんだ付けを行う。								○	－																					
	△の数	訂正記事				設計		検図		年月日																						
△																																
備考						承認	MK. NAGATA		20220819																							
注1. 通電時の温度上昇を含みます。						検 図	MK. NAGATA		20220819																							
注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。						担 当	TS. MIYAKI		20220819																							
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512（対応規格 JIS C 5402）を適用している。						製 図	TS. MIYAKI		20220819																							
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目						図番		SLC-381252-00-00																								
HRS	製 品 規 格 表				製品名		FX23L-**P-0.5SV8																									
	ヒロセ電機株式会社				製品コード		CL573		△	1/1																						